

(長岡)戯曲研究会の考え方及び

シアターゴーイング参加企画書について

(2003年7月27日開催シアター実行委員会にて)

1 コンセプト

別紙企画書及び団体概要書のとおり、当団体は、財団法人長岡市芸術文化振興財団(以下財団と称す)の人材育成に係るインプット事業のワークショップ等(俳優体験、戯曲ワークショップ、高校生ワークショップ)を母体に地域演劇に貢献できる人材の育成及び地域を代表する作品創りを志向し、よりよい作品へのアプローチのための勉強会という位置付けで結成しました。

また(長岡)戯曲研究会の名称で長岡市での社会教育団体登録をして、長岡地域に根ざした団体として、観劇や財団企画のインプット事業と外へ発表する機会の(シアターゴーイング等)を有機的に結びつける団体として振興発展に貢献しうる性格を持ち合わせ、広く長岡地区内及び地区外に向けての創作演劇の発表機能を有しての活動が本旨です。

2 創作活動

現代(現存)作家の戯曲を読むことにより、また良質な舞台の観劇活動を通して演技者・創作者として演劇の基本構造や作家の創作過程を知り、以って地域演劇における人材の育成と創作へと結び付けたいと考えています。

本年度観劇活動実績(今年4月～)としては、(県内劇団等を除く)

- 5月 「オイル」NODA MAP 渋谷 シアターコクーン 6名参加
「泥人魚」劇団唐組 新宿 花園神社 4名参加
「太陽まであと一步」キャラメルボックス 新潟 りゅーとぴあ 5名参加
- 6月 「みつばち」阿佐ヶ谷スパイダース 新潟 りゅーとぴあ 7名参加
- 7月 「シンベリン」シェークスピアカンパニー 小出郷文化会館 2名参加
「唐版 風の又三郎」 劇団新宿梁山泊 豊栄市 特設テント 9名参加

3 公演活動に関する基本的な考え方

既成作家の、いわゆる過去に当たった作品(古典を除く現代演劇作家作品)は上演リスクも少なく安易に芝居作りができてしまいます。それ自体は、普及活動等に適していると思われます。

しかしながら、逆にいうと「面白くて当たり前」の芝居作りが大前提です。この観点から、よりリスクを少なくするためには模倣(コピー)という創作活動から外れた作業を行わなければなりません。またリスクを負って「らしさ」「オリジナリティ」

を追求すれば、作家の本意とは離れてしまいます。そのため、無許可で作品に手を加えてしまう（テキストレジ）という違法行為（著作権法に抵触）となります。

現在では、たとえ無料公演でも作家に対する著作権は保護されています。それ以前に創作者に対する敬意を払わねばならないと考えますが、今まで軽視されてきた問題です。しかしながら、りゅーとぴあ（新潟市）やリリックホール（長岡市）ができた事により全国の演劇関係者が注目する地域になりました。その地域の演劇人に課せられた責務は重大です。恐らくそのことに気づいていないのは地域で活動する私たち自身だと思えます。

そこで、創作戯曲への取り組み、価値を高め質の高い創作演劇を長岡地域から発信する為財団主催の戯曲ワークショップ出身者と連携し地元産の劇作家を誕生させたいと願っております。

4 シアターゴーイングについての基本的な考え方

そもそもシアターゴーイングの企画コンセプトがあり、賛同する団体が企画書を提出し、双方向のコミュニケーション（合意）により意思疎通を図り参加決定するものと思っております。

5月末日に「企画書提出」を、「7月27日にプレゼンテーション」との実行委員会のスケジュールに従いましたが、企画書提出から今日まで、主催者側から未だイベントコンセプト等の説明が一切ないうえに既に参加劇団の大半が決定している旨をお聞きして驚いております。どのようなルールを拠り所にしてしているのか解りません。

企画書を急いで提出せよと言いながら放置しておいたのでしょうか？聞く所によると他団体と最後の出場枠を争ってのプレゼンテーションと伺いましたが、当団体は全劇団等が企画書を並べた上の審査であると思っておりますし、審査は参加団体（利害関係者）以外の方が行うのが常道だと考えておりました。（このことはシアターゴーイング2002第1回実行委員会で提起済：議事録を参照下さい）

もとより特定の団体と参加を争うことも本意ではありませんし、シアターゴーイング自体のコンセプトも公表されていませんし、選考方式自体の説明もありませんでした。決定までにはその説明があるものと思っておりますが、それもないようです。

当戯曲研究会は、次年度以降も条件が合えば、地域演劇振興発展のためにもシアターゴーイング参加を希望いたします。

しかしながら今年度は、上述理由および次年度以降のより発展的な運営に向けての幾つかの質問と情報開示をお願い申し上げ、本年度のシアターゴーイング参加については辞退申し上げます。

イベントは積み重ねこそが重要な財産であると考えます。その場の思いつきや、終わったらやりっぱなしでは毎年進歩がありません。起こった事象を記録し、検証・反省し次につなげるからこそ継続につながると思っております。つきましては、このたびの質問（別紙）に関しては、実行委員長名および財団名で文書での回答をお願い申し上げます。

尚、長岡地域演劇の振興発展を願う気持ちは同じものと思えます。本年度の参加は辞退させていただきますが、運営面のお手伝い等ありましたら協力させていただきますので、なんなりとお声がけして下さい。

財団法人長岡市芸術文化振興財団様および
シアターゴーイング実行委員長 様

平成 15 年 7 月 27 日
(長岡)戯曲研究会

公開質問

1 今年度の「シアターゴーイング」の開催コンセプトを教えてください。

2 参加劇団の決定について
実行委員名について

参加劇団選考委員名について(と同じ場合、その理由)

選考委員の選抜方法について

選考方式のガイドラインについて

選考基準について

選考過程について

参加劇団募集要項の有無、または請求先について

3 著作権の取扱いについて
既製脚本への使用許可および著作権料支払の確認について

4 議事録の開示について
議事録を整備していますか？
また、議事録の公開について

以上の情報の開示及び考え方についてを書面にてご回答お願い申し上げます。